

# 令和6年度 第1回 江別市男女共同参画審議会 議事録

日 時：令和6年11月19日（火）18時00分～18時52分

場 所：江別市民会館 21号室

出席委員：10名

小内純子（会長）、塩山慎一（副会長）、黒澤直子、柿原正美、小松健二、早瀬美知子、松本常雄、三角晴美、五十嵐友紀子、岡幸代

欠席委員：1名

稲垣正樹

事務局：5名

生活環境部 近藤部長、千葉次長

市民生活課 中住参事（市民協働担当）、工藤主査（市民協働担当）、佐藤主事

傍聴者：1名

次 第：1 開会

2 議事 江別市男女共同参画基本計画【中間見直し版】の推進状況  
令和5年度年次報告（案）について

3 その他

4 閉会

|               |   |
|---------------|---|
| 開会前           | 事務局より委員の交代に関する説明及び資料の確認   |
| 小内会長          | 令和6年度第1回江別市男女共同参画審議会を開会します。<br>次第「2 議事」「江別市男女共同参画基本計画中間見直し版の推進状況令和5年度年次報告案」について審議を行います。事務局から説明願います。   |
| 事務局<br>（工藤主査） | 資料1をご覧ください。<br>江別市男女共同参画基本計画中間見直し版の推進状況についての報告書です。この報告書は本審議会でご確認いただいた後、1月を目途に、市長以下、市の理事者や部長職で構成する男女共同参画推進本部会議に諮り、その後、市のホームページや情報公開コーナーの配置などにより公表する予定です。<br>目次をご覧ください。<br>「1 江別市男女共同参画基本計画中間見直し版の概要」として、1ページから5ページ |

ページまでに計画の概要を記載しています。

「2の(2)江別市男女共同参画中間見直し版の推進状況」として、7ページ以降に基本方針1から基本方針7までの推進状況を記載しています。基本方針1から4は、中間見直し以降、女性活躍促進推進計画として位置付けています。

「3施策関連事業実施状況」として、23ページ以降には、男女共同参画に関連する事業の令和5年度実績等を掲載しています。

1ページをご覧ください。

「第1章 基本的な考え方」「1 計画の趣旨」に記載のとおり、本報告書の対象は、平成26年度に策定し、中間年である平成30年度に見直しを行った第2次基本計画です。

2ページをご覧ください。

「(3)計画期間」に記載のとおり、第2次基本計画の期間は平成26年度から10年間で、令和5年度は計画の最終年次に相当します。

5ページをご覧ください。

「2数値目標」に記載のとおり、計画では4つの数値目標を設定しており、令和5年度の結果をもって、基本計画の達成度を図ることとしています。

7ページをお開きください。

基本方針1から7に沿って、計画の推進状況をご説明します。

基本方針1「男女平等共同参画社会の実現に向けた意識づくり啓発の推進」では、世界経済フォーラムが発表したジェンダー・ギャップ指数などの順位や、男女共同参画に関する認知度、男女の平等感について記載し、これらと対比する形で、ページ中程の4段落目には、江別市における男女の平等感に関する意識調査を記載しております。男女間の意識には差がある結果となっています。

8ページをお開きください。

下段の図2から9ページの図3から5は、意識調査の結果を経年で比較したグラフですが、平等意識が50%を超えているのは、学校教育、家庭、地域社会となっています。

10ページをお開きください。

基本方針2「政策や方針決定過程への女性の参画拡大と女性の力を活かした政策の推進」では、女性の社会参画の促進や市議会の女性割合、審議会等における女性管理職登用状況について記載しています。

5行目から記載の「江別市の審議会等における女性委員の割合」については、令和5年度の前年度比0.7ポイント増の30.9%。女性委員が4割以上の審議会等の割合は、令和5年度は前年度比2.2ポイント増の36.7%となっています。また、市の女性管理職登用の状況は、前年度比0.4ポイント増の10.9%となっております。審議会等の女性委員、女性管理職の登用の状況は、11ページの図7、8、また、表5に詳細を掲載していますので、参照願います。

12ページをご覧ください。

基本方針3「就労・雇用・企業など働く人たちの男女共同参画の推進」では、女性の就業者数と労働力人口比率や市内の事業者数と従業者数、農業における女性就業者数などについて記載しています。

2段落目では、女性の年齢階級別労働力人口比率が、結婚や出産を機に下がり、その後上昇に転ずる傾向、いわゆるM字カーブについて記載していますが、令和5年度は、25歳から29歳が88.2%。30歳から34歳が82.6%と上昇したため、13ページの図11のとおり、M字の底が浅くなり、先進諸国で見られる形に近くなりました。

16ページをお開きください。

基本方針4「子育てや介護等、家庭生活における男女共同参画の推進」では、ワーク・ライフ・バランスに関する意識調査や、高齢者の人口割合について記載しています。

上から5行目、市民アンケートによる意識調査では、「男性は仕事、女性は家事・育児」という考え方について、令和5年度は「賛成」と、「どちらかといえば賛成」を合わせると20.0%で、前年度から1.2ポイント増となったものの、下段の図16のとおり、平成20年度と比べると大きく減少しています。また、男女間の考え方には開きがあり、男性に固定的役割分担意識が強く残っている傾向が見られます。

18ページをお開きください。

基本方針5「あらゆる暴力根絶の取組」では、DVの相談件数や配偶者からの暴力についての調査、DVやセクハラ相談先などを記載しています。

上から8行目、市民アンケートによる意識調査では、「暴力を受けたことがある」との回答は、男性が3.0%、女性が10.9%。セクハラについて「聞いたことがある」との回答は、男性が0.7%、女性が9.5%となっており、女性が被害者となるケースが多くなっています。アンケートの結果の詳細は、下段の図19、図20に記載しています。

20ページをお開きください。

基本方針6「生涯にわたる男女の健康支援」では、平均寿命と健康寿命や子宮頸がん、乳がん検診などについて記載しています。

3段落目、子宮頸がん及び乳がんについては、検診受診率は徐々に上昇しているものの、国が定める第5次男女共同参画基本計画の成果目標である検診受診率50%には達成していないことを記載しております。江別市における受診者数、受診率は、下段の図23、図24に掲載のとおりとなっております。

21ページをご覧ください。

基本方針7「男女共同参画の視点に立った防災・災害復興体制の整備」では、女性の消防団員の割合について記載しています。下段の表10及び図25では、その数字について示していますが、近年は横ばい状況にあります。

22ページをお開きください。

「(3) 数値目標」の達成状況ですが、本計画の数値目標として位置付けているまちづくり市民アンケートの結果について、目標値と達成状況を掲載しています。

平成29年度の中間見直しと比較すると「1 地域社会で男女が平等となっていると思う人」、「2 家庭生活上で男女が平等となっていると思う人」の割合は目標を達成しましたが、「3 職場で男女が平等となっていると思う人」、「4 男女共同参画の考えが必要だと思う」の割合は目標値に届きませんでした。

別紙参考資料1-①をご覧ください。

|               |  |
|---------------|--|
|               | <p>第2次計画における計画期間中の目標数値の推移をまとめたものです。</p> <p>数値目標の表中の右の列、令和5年度は、1段目の「地域社会」で「平等」と回答した割合は、前年度比5.5ポイント増の57.0%。2段目の「家庭生活」では、9.6ポイント増の59.9%、3段目の「職場」では1.5ポイント増の43.4%となりました。</p> <p>表の下には、数値目標の推移をグラフで示しています。</p> <p>4つの数値目標とも、グラフは全体的に右肩上がり、すなわち計画期間中の数値は上昇傾向となっています。平成24年度の計画策定時と最終年次の令和5年度を比較すると、「地域社会」では23.5ポイントの増。「家庭生活」では20.1ポイントの増。「職場」では20.1ポイントの増といずれも20ポイントを超える上昇となりました。</p> <p>一方で、「男女共同参画の考え方が必要」と考える割合は、令和4年度と令和5年度で比較すると、0.9ポイント減で、また、近年は横ばい傾向となっています。</p> <p>こうした第2次基本計画の達成状況を踏まえ、引き続き、性別に関わりなく、すべての市民が能力を発揮し、自分らしく暮らすことができる社会を目指し、令和5年度に策定し、今年度からスタートした「第3次江別市男女共同参画基本計画」に基づき、意識啓発などの取組を進めていく必要があるものと考えています。</p> <p>次に、先ほど見ていただいた資料1の報告書の23ページをご覧ください。23ページ以降は、基本方針ごとに関連する市の事業の実施状況を掲載していますので、ご参照願います。</p> |
| 小内会長          | 事務局から説明がありましたが、全体を通じて意見、質問ありますか。   |
| 委員一同          | (なし)   |
| 小内会長          | 中間見直し版の推進状況ということで、令和5年度に本審議会で議論したことが反映されているものと理解してよろしいか。   |
| 事務局<br>(中住参事) | <p>令和5年度における本審議会の議論は、第3次基本計画を策定するにあたり、通算6回開催した審議会のうち、第5回目において、令和4年度の推進状況について審議いただいたところです。</p> <p>その際、女性の非正規雇用が多く、正規雇用との格差があるとの意見がありましたので、12ページ基本方針3「就労・雇用・企業など働く人たちの男女共同参画の推進」、下から2行目に「男女がともに均等な就業機会と待遇が得られ」という表現としています。</p>   |
| 小内会長          | <p>令和5年度は、6回審議会を開催し、第3次基本計画を策定しました。</p> <p>そのうち、5回目の審議会では、第2次基本計画の中間見直し版における令和4年度の推進状況について確認を行いました。</p> <p>本日の審議会は、第2次基本計画の中間見直し版の令和5年度の推進状況の確認であるため、昨年度の審議と重なる部分も多くあります。</p>  |

|               |  |
|---------------|--|
|               | <p>本日の審議会から委員に委嘱されて参加された方には、経過が分からず理解が難しいところですが、前年の議論を反映して修正されているとのこと。</p> <p>13ページの図11 就業状況別人口割合のうち、左の女性のグラフでは、確かにM字カーブは解消されたように見えますが、一方、同グラフの正規雇用比率を見ると女性の非正規雇用が多く、年齢が増えるにしたがって、正規雇用比率が下がっていることが印象的です。</p> <p>右の男性のグラフと見比べても男性と女性の違いが顕著で、非常に特徴のあるグラフだと思いました。</p> <p>事務局の説明を受けて、質問等ありますか。</p> |
| 三角委員          | <p>感想になりますが、配布された資料1-①の数値目標について、男性は概ね目標値を達成しているのに対し、女性は常に男性の数値を下回っており、男女間の差というのは、かなりあると感じました。</p>  |
| 小内会長          | <p>確かに、各意識調査において、男性に比べ女性の平等感が低いことは、特徴的であると思います。</p> <p>「男女共同参画の考え方が必要」については、男女別のデータはないのでしょうか。</p>  |
| 事務局<br>(中住参事) | <p>「男女共同参画の考え方が必要」については、基になっている意識調査が異なるため、男女別の数値で示すことはできません。その他の数値傾向を踏まえると、男女で差がある可能性は高いと考えております。</p>  |
| 小内会長          | <p>次の計画の資料には、可能であれば、「男女共同参画の考え方が必要」の項目にも男女別で示されると、より良いと思いました。</p> <p>他に意見等ありますか。</p>   |
| 柿原委員          | <p>P T Aに所属しているので、教育に関する部分が気になります。先日、小学校のお祭りの際、お手伝いをお願いしたところ、10人中、男性が1人で女性が9人という状況でした。</p> <p>P T Aなどの教育現場では、女性の参加が多いのですが、役員の選出となると、男性が担うことが多いことは課題と感じています。</p>  |
| 小内会長          | <p>他の委員も頷かれています、P T A役員のなり手がなくて、男性に押し付けている点は、女性側の共に担うという意識が足りないと感じる面もあります。</p>   |
| 柿原委員          | <p>男性が、平日の日中にP T A活動を行うことは難しいです。一方で資料1-①の家庭生活の平等感の数値にも表れていますが、男性が家事育児をやっているつもりでも、女性からは、そう見えない場面も多々あります。教育現場でも男性がもっと参加すべきだと思いますし、参加しやすい環境を整えるということも必要だと思います。</p>  |
| 小内会長          | <p>「手伝っている」と「共に担う」では違いますので、男女間の意識の違いがあると</p>   |

|               |  |
|---------------|--|
|               | <p>思います。</p> <p>男女間の意識の違いも徐々に変わっていく必要があります、育ってきた環境や小さい頃からの教育が大事になってくると思います。</p> <p>その他、意見等ありますか。</p>   |
| 委員一同          | (なし)   |
| 小内会長          | <p>「2 議事」については審議を終了します。</p> <p>続いて次第「3 その他」ですが、各委員の皆様から何か意見等ありますか。</p>   |
| 委員一同          | (なし)   |
| 小内会長          | 事務局から何かありますか。  |
| 事務局<br>(工藤主査) | <p>事前に配布した、A3見開きで、表題に「えべつの男女共同参画」とある「第3次男女共同参画基本計画」のリーフレット案です。</p> <p>第3次基本計画では、重点項目の1つとして、「男女平等・共同参画社会と多様性を認め合う社会の実現に向けた意識づくり」を掲げています。</p> <p>その中で、年齢に限らず、すべての人に対し、男女共同参画の公報・啓発活動に努めることとしていることから、計画の概要をわかりやすく伝えるリーフレットを作成したいと考えています。</p> <p>このリーフレットは、各公共施設等に配架するほか、協働のまちづくりを伝えるために市内小学4年生と中学2年生を対象に実施している早朝ミニ講座でも配布することを想定しています。</p> <p>そのため、リーフレットでは、小学4年生を基準にルビを振っています。</p> <p>本日は、このリーフレット案委員各位から意見をいただき、記載内容等に反映させたいと考えています。</p> <p>なお、デザインは未定で、変わる可能性があります。</p> |
| 小内会長          | 事務局から説明がありましたが、リーフレット案について意見等ありますか。  |
| 岡委員           | 小学4年生を基準としたルビとのことですが、小学生のうちに男女共同参画の考えに親しんでいくのが良いと思いますので、全部の漢字にルビを振ってもいいのではないのでしょうか。  |
| 事務局<br>(中住参事) | <p>事務局の検討では、全部の漢字にルビを振るという方法もある一方、このリーフレットは、全世代を対象と考えていたことから、ルビが多すぎると、上の世代には見にくくなる可能性もあると考えました。</p> <p>また、子どもの頃から男女共同の考え方を浸透させるため、市内の小学4年生と中学2年生全員に、協働について対面で話をする早朝ミニ講座において、このリーフレットを使用することを想定していることも踏まえ、小学5年生以降で習う漢字にルビ</p>   |

|       |   |
|-------|---|
|       | <p>を振る案としています。</p> <p>さらに、2度3度出てくる同じ漢字にはルビを振らず、極力ルビを減らしつつ、小学4年生に読めるようにしたもので、こうした、ルビの振り方については、審議会の中でご意見をいただき反映したいと考えております。</p>   |
| 小内会長  | <p>事務局から説明がありましたが、いかがでしょうか。</p>   |
| 岡委員   | <p>他のリーフレットでも、対象年齢に合わせているのでしょうか。</p> <p>他市で作成したリーフレット等も見た印象からすると、多くは全部にルビを振っているように感じます。</p> <p>小さい子どもでもわかるように、1度ルビを振った漢字には、2度3度と同じようにルビを振っているリーフレットを見てきたので、事務局案には違和感があります。</p> <p>他のリーフレットを色々見て、学んでみようと思います。</p>  |
| 早瀬委員  | <p>とても良い取組で、このまま進めてもらえると嬉しいと思います。</p> <p>ただ、小学生に教えようとするのであれば、小学4年生なり、中学2年生なりに合わせた文言の表記を工夫すると、すんなりと受けとめてもらえると思います。</p> <p>子どもたちに小さなときから「個性は大事」ということと、ジェンダーの観点から自分は自分らしくて良いということや男の子だから女の子だからということではないということを人権教室で伝えています。</p> <p>女だから食事を作らなくてはいけない、介護をしなくてはいけない、ということではないのと同様に、男だから外で仕事するのは当たり前という考えは、これから無くしていかなければならないと思いますので、そのことをしっかり教えてほしいと思います。</p> <p>リーフレット案を見たとき、どの年代を対象としているのかわからないという印象がありました。子どもたちに向けたリーフレットであれば、柔らかい表現を入れると小学1年生でも小学6年生でも受け止めてくれると思いますので、期待しています。</p> |
| 五十嵐委員 | <p>リーフレット案を見たときに、誰を対象としているのか分らないと思いました。</p> <p>公共施設に置くということと、小学校と中学校の早朝ミニ講座で使用するということで、ルビも振られていますし、文章の内容も子ども向けなのかと思っていました。</p> <p>リーフレット案は大人も対象にするということですが、子ども向けに男女共同参画とはこういうものという導入部分のリーフレットとしては、江別市の基本計画の基本方針に沿って作成しているので、こういう内容になるかと思いますが、これとは別に大人を対象としたリーフレットを作成したほうが良いと思います。</p> <p>例えば、GGI（ジェンダーギャップ指数）の順位の上位国ではこういう取組をしていますとか、日本では、こういうところが男女の違いによる格差がある要因になっていると説明するなど、内容を膨らませて、大人が見ても勉強になり、読んで納得できるものにすればよいのではないのでしょうか。</p>  |
| 黒澤委員  | <p>表紙は、子ども向けに書かれていると思いましたが、内側のページを見ると大人で</p>  |

|               |  |
|---------------|--|
|               | <p>なければわかりにくいところもあったので、このリーフレット案を小学生や中学生に配布することに違和感がありました。</p> <p>また、表紙に「女の子なんだから、赤いランドセルが良いんじゃない？」との記載がありますが、今の小学生や中学生の年代で赤いランドセルの女の子は皆無に近い状態なので、今の小学生や中学生に配布してもピンとこないと思います。</p> <p>最初の導入部分ですので、別な表現が良いと思いました。</p>  |
| 小内会長          | <p>「赤いランドセルが」の点については、見直しを検討してほしいと思いますが、子ども向けと大人向けの2種類を作るというのは、予算等、現実的な問題として難しいものでしょうか。</p>   |
| 事務局<br>(中住参事) | <p>予算上の制約はあるので、2種類の作成はハードルが高いところですが、提示したリーフレット案は、あくまでも事務局で作成した一例で、デザインについては、外部に委託を想定しており、委託業務の中でレイアウト等を工夫することで、改善はできるものと考えます。</p> <p>ランドセルの事例などは、古いというご意見がありましたので、変えたいと思います。</p> <p>リーフレットを全世代向けとした点は1つの試みでしたが、大人にとっては物足りない内容で、子どもにとっては少し難しいと感じる内容であるという意見をいただきました。全世代向けにするということは、焦点を置くことが難しく、焦点を置かずに作成しようとした場合、どこかの年代に対しては、手が届かないという部分が生じることも出てくるように思います。</p> <p>市ではこれまで、主に大人向けのリーフレットを作成していましたが、令和5年度の審議会では、子ども向けのリーフレットの作成について意見をいただいたことを踏まえて、今回、小学生を含む全世代向けの案を提案したところですが、本日は、各世代に合わせた方が分かりやすいという意見があり、表現方法が難しいと感じたところです。</p> |
| 小内会長          | <p>今までが一般向けであれば、今回は思い切って、子ども向けを作成するというのも良いと思います。あるいは、今年、子ども向けにして、次の機会に大人向けにする等、大人向けをホームページで公開して、今回は子ども向けに力を入れるという方法もあるかと思います。</p> <p>見開きの内側、2ページ3ページについては、結構文字が多く、特に3ページの「～相談されたら、どうする？～」の内容は、高学年になるにつれて、悩みを抱えている友達もいると思うので、大事なことではあるのですが、子どもたちが読んだ後の印象に残るかどうかは疑問がありますので、この点についてももう少し検討してほしいと思います。</p>   |
| 早瀬委員          | <p>会長が発言された「～相談されたら、どうする？～」の内容は、人権擁護委員にもSOSが入ってくること、大事な要素だと思います。</p> <p>手紙やLINEでの相談もあり、現在、人権擁護委員では周知に努めているところ</p>  |

|      |   |
|------|---|
|      | <p>ですが、相談窓口をリーフレットで小学4年生に紹介することは大切で、掲載してもらうことはとても良いと思います。</p> <p>リーフレット案全体の印象としては、字が小さいだけではなく、小学生向きの文言ではないと感じる部分があるため、その部分を直してほしいと思います。</p> <p>また、配布の際には補足して説明してもらえるとと思いますが、リーフレットを家に持ち帰って見直し、自分の気持ちを整理できるような状況を作ってもらえると良いと思います。</p> <p>事務局の説明では、公民館等の公共施設に配架するということでしたが、大人向けのものに関しては、市内で活動している色々な団体にも発信してもらいたいと思います。</p> <p>例えばPTAでは「昼間の活動に参加するのは女性が多く、なかなか男性は参加しない」という悩みもあるようですので、そのような悩みを抱えている団体に発信していくこともできると思います。</p> <p>予算の話ありましたが、子どもたち向けには、立派なリーフレットを作成するよりも、いかに伝わる言葉が例示できるかを考えてもらえると良いと思います。</p> |
| 小内会長 | <p>早瀬委員に意見を踏まえると、相談窓口等は見やすい4ページ目に配置し、4ページ目の内容は見開きの内側ページに入れた方が良さそうですね。</p>   |
| 柿原委員 | <p>見開きの内側のページですが、小学6年生の私の子どもに見せたところ、読みませんでした。</p> <p>やはり絵や図がなく、字ばかりのページだと子どもは見気になりませんので、見開きの内側ページには、スペースに絵を入れるなどの工夫が必要だと思います。</p>   |
| 三角委員 | <p>見開きの内側のページの「～相談されたら、どうする?～」の内容ですが、結果的にこうしたほうが良いよというパターンが記載されていますが、ここを子どもに考えさせるような問いかけにしてはどうでしょうか。</p> <p>例示されている内容は、結果的に「誰かに相談しましょう」ということが書かれているので、ミニ講座で使うのであれば、「この場合、どうしたらいいと思う?」と子どもたちと一緒に考え、問いかけられるような形として、最後に答えを記載するような形にすると良いのではと感じました。</p>   |
| 小内会長 | <p>意見が多かった相談に関する部分を、もう少し検討いただければと思います。各委員からは、どちらかという子ども向けで考え、相談に関する部分が重要という意見が多いようです。</p> <p>子ども向けのリーフレットとして進めていく方向で、後から気づいた点があれば、直接事務局へ伝えていただくようお願いします。</p> <p>他に意見等ありますか。</p>   |
| 委員一同 | <p>(なし)</p>   |

